

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 山口県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立総合医療センター	2
-	県立こころの医療センター	3
下関市	中央病院	4
下関市	豊浦病院	5
下関市	豊田中央病院	6
萩市	市民病院	7
岩国市	岩国市立錦中央病院	8
岩国市	岩国市立美和病院	9
光市	光市立光総合病院	10
光市	光市立大和総合病院	11
美祢市	市立病院	12
美祢市	美東病院	13
周南市	市民病院	14
山陽小野田市	山陽小野田市民病院	15
周防大島町	周防大島町立東和病院	16
周防大島町	周防大島町立橘病院	17
周防大島町	周防大島町立大島病院	18

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	山口県
		市町村・組合名	
		病院名	県立総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,404,729	
決算規模(千円)	612,769,567	
標準財政規模(千円)	371,740,097	
財政力指数	0.45905	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	206.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,380			
1 経常収益	11,380			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	11,380			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,380			
2 経常費用	11,380			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,380			
(うち支払利息)	11,380	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	山口県
		市町村・組合名	
		病院名	県立こころの医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）		1,404,729
決算規模（千円）		612,769,567
標準財政規模（千円）		371,740,097
財政力指数		0.45905
経常収支比率（%）		91.5
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.0
	将来負担比率（%）	206.7

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,228			
1 経常収益	19,228			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,228			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,228			
2 経常費用	19,228			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	98.9
材料費	-	-	24.7	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	23.3	34.6
(うち委託料)	-	-	11.5	17.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	19,228			
(うち支払利息)	19,228	-	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.9
医業収支比率	-		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	64.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	山口県
		市町村・組合名	下関市
		病院名	中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	268,517	
決算規模(千円)	119,597,727	
標準財政規模(千円)	65,442,475	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	82.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,940			
1 経常収益	2,940			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,940			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,940			
2 経常費用	2,940			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,940			
(うち支払利息)	2,940	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	201.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	下関市
	病院名	豊浦病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	268,517	
決算規模(千円)	119,597,727	
標準財政規模(千円)	65,442,475	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	82.2

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,935			
1 経常収益	2,409			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,409			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	2,409			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,526			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,632			
2 経常費用	3,632			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,632			
(うち支払利息)	3,632	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,223			
純損益	12,303			
累積欠損金	51,691			
経常収支比率	66.3		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	15.1		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	-		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,417	2,409
資本勘定繰入	23,677	16,098
計	26,094	18,507

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	201.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	下関市
	病院名	豊田中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,773 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	68.6	71.4	62.0
療養	11	-	-	54.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	71	57.9	60.4	59.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	19.1	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	268,517	
決算規模(千円)	119,597,727	
標準財政規模(千円)	65,442,475	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	82.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.3
修正医業収益(千円)	714,800

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	982,469			
1 経常収益	982,390			
(1) 医業収益	767,492			
入院収益	417,562			
外来収益	246,133			
診療収入計	663,695			
その他医業収益	103,797			
(うち他会計負担金)	52,692			
(2) 医業外収益	214,898			
(うち国・都道府県補助金)	14,180			
(うち他会計補助・負担金)	159,037			
(うち長期前受金戻入)	39,907			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	79			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,097,184			
2 経常費用	1,096,463			
(1) 医業費用	1,062,720			
職員給与費	654,856	85.3	55.7	72.6
材料費	98,273	12.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	60,768	7.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,561	4.6	11.0	5.6
減価償却費	83,019	10.8	9.0	11.1
経費	212,987	27.8	23.3	31.9
(うち委託料)	137,518	17.9	11.5	13.0
研究研修費	7,973			
資産減耗費	5,612			
(2) 医業外費用	33,743			
(うち支払利息)	6,850	0.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	721			
損益				
経常損益	-114,073			
純損益	-114,715			
累積欠損金	1,496,820			
経常収支比率	89.6		97.7	97.4
医業収支比率	72.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	27.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	21.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	70.3		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,857,039
1 固定資産	1,474,828
(1) 有形固定資産	1,474,707
(2) 無形固定資産	121
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	382,211
(1) 現金及び預金	203,279
(2) 未収金及び未収収益	170,541
(3) 貸倒引当金()	440
(4) 貯蔵品	8,831
3 繰延資産	-
負債合計	1,547,622
1 固定負債	980,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	528,728
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	251,713
(7) リース債務	-
2 流動負債	330,298
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,837
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	37,874
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	203,244
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	236,883
(1) 長期前受金	787,999
(2) 長期前受金収益化累計額()	551,116
資本合計	309,417
1 資本金	1,849,419
2 剰余金	-1,540,002
(1) 資本剰余金	8,509
(2) 利益剰余金	-1,548,511
負債・資本合計	1,857,039
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	211,729	211,729
資本勘定繰入	40,438	40,438
計	252,167	252,167

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	201.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	萩市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,722 m ²	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	81.0	75.9	77.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	81.0	75.9	77.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	11.6	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	49,560	
決算規模(千円)	28,950,735	
標準財政規模(千円)	17,346,786	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収益(千円)	2,003,017

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,519,815			
1 経常収益	2,519,815			
(1) 医業収益	2,112,348			
入院収益	1,328,444			
外来収益	527,012			
診療収入計	1,855,456			
その他医業収益	256,892			
(うち他会計負担金)	109,331			
(2) 医業外収益	407,467			
(うち国・都道府県補助金)	350			
(うち他会計補助・負担金)	375,297			
(うち長期前受金戻入)	4,680			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,687,737			
2 経常費用	2,687,737			
(1) 医業費用	2,563,134			
職員給与費	1,428,155	67.6	55.7	61.3
材料費	423,198	20.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	158,794	7.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	263,253	12.5	11.0	8.2
減価償却費	168,530	8.0	9.0	10.2
経費	533,533	25.3	23.3	30.5
(うち委託料)	362,481	17.2	11.5	13.0
研究研修費	8,053			
資産減耗費	1,665			
(2) 医業外費用	124,603			
(うち支払利息)	44,504	2.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-167,922			
純損益	-167,922			
累積欠損金	899,286			
経常収支比率	93.8		97.7	96.5
医業収支比率	82.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	19.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	75.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,647,673
1 固定資産	2,618,025
(1) 有形固定資産	2,536,209
(2) 無形固定資産	734
(3) 投資その他の資産	81,082
2 流動資産	1,029,648
(1) 現金及び預金	508,341
(2) 未収金及び未収収益	508,774
(3) 貸倒引当金()	4,703
(4) 貯蔵品	17,236
3 繰延資産	-
負債合計	3,455,301
1 固定負債	2,816,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,288,921
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	527,910
(7) リース債務	-
2 流動負債	553,709
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	278,566
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	82,641
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	191,445
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	84,761
(1) 長期前受金	246,412
(2) 長期前受金収益化累計額()	161,651
資本合計	192,372
1 資本金	877,747
2 剰余金	-685,375
(1) 資本剰余金	213,911
(2) 利益剰余金	-899,286
負債・資本合計	3,647,673
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	484,628	484,628
資本勘定繰入	161,220	106,839
計	645,848	591,467

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	岩国市
				病院名	岩国市立錦中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,974 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	53	65.3	71.7	75.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	53	65.3	71.7	75.2
平均在院日数(一般病床のみ)		29.8	32.5	30.1

設立団体の状況		
人口(人)	136,757	
決算規模(千円)	69,674,884	
標準財政規模(千円)	35,066,456	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	1.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.2
修正医業収益(千円)	506,978

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	688,806			
1 経常収益	688,806			
(1) 医業収益	556,848			
入院収益	241,285			
外来収益	246,428			
診療収入計	487,713			
その他医業収益	69,135			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	131,958			
(うち国・都道府県補助金)	4,289			
(うち他会計補助・負担金)	113,291			
(うち長期前受金戻入)	11,070			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	773,442			
2 経常費用	773,442			
(1) 医業費用	743,358			
職員給与費	391,342	70.3	55.7	72.6
材料費	180,722	32.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	132,842	23.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,972	7.2	11.0	5.6
減価償却費	30,492	5.5	9.0	11.1
経費	138,744	24.9	23.3	31.9
(うち委託料)	62,906	11.3	11.5	13.0
研究研修費	1,204			
資産減耗費	854			
(2) 医業外費用	30,084			
(うち支払利息)	231	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-84,636			
純損益	-84,636			
累積欠損金	273,524			
経常収支比率	89.1		97.7	97.4
医業収支比率	74.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	23.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	29.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	23.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	68.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,562,036
1 固定資産	716,229
(1) 有形固定資産	709,596
(2) 無形固定資産	6,633
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	845,807
(1) 現金及び預金	408,800
(2) 未収金及び未収収益	433,703
(3) 貸倒引当金()	3,679
(4) 貯蔵品	6,983
3 繰延資産	-
負債合計	309,848
1 固定負債	48,493
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,980
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,022
(7) リース債務	5,491
2 流動負債	140,837
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,750
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,297
(6) リース債務	1,750
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,842
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	120,518
(1) 長期前受金	361,851
(2) 長期前受金収益化累計額()	241,333
資本合計	1,252,188
1 資本金	1,297,780
2 剰余金	-45,592
(1) 資本金剰余金	299,687
(2) 利益剰余金	-345,279
負債・資本合計	1,562,036
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	163,161	163,161
資本勘定繰入	14,226	10,379
計	177,387	173,540

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	岩国市
	病院名	岩国市立美和病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,968 m ²	指定病院の状況	救臨
診療科数	6	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	46.7	46.9	64.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	46.7	46.9	64.3
平均在院日数(一般病床のみ)		29.1	29.4	35.2

設立団体の状況		
人口(人)	136,757	
決算規模(千円)	69,674,884	
標準財政規模(千円)	35,066,456	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	1.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.6
修正医業収益(千円)	430,702

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	606,563			
1 経常収益	606,563			
(1) 医業収益	472,087			
入院収益	206,619			
外来収益	200,540			
診療収入計	407,159			
その他医業収益	64,928			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	134,476			
(うち国・都道府県補助金)	4,484			
(うち他会計補助・負担金)	103,662			
(うち長期前受金戻入)	22,445			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	721,968			
2 経常費用	721,968			
(1) 医業費用	687,499			
職員給与費	359,161	76.1	55.7	72.6
材料費	157,525	33.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	117,076	24.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,769	6.9	11.0	5.6
減価償却費	26,690	5.7	9.0	11.1
経費	141,253	29.9	23.3	31.9
(うち委託料)	62,804	13.3	11.5	13.0
研究研修費	2,247			
資産減耗費	623			
(2) 医業外費用	34,469			
(うち支払利息)	198	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-115,405			
純損益	-115,405			
累積欠損金	95,841			
経常収支比率	84.0		97.7	97.4
医業収支比率	68.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	23.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	30.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	23.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	63.9		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,562,036
1 固定資産	716,229
(1) 有形固定資産	709,596
(2) 無形固定資産	6,633
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	845,807
(1) 現金及び預金	408,800
(2) 未収金及び未収収益	433,703
(3) 貸倒引当金()	3,679
(4) 貯蔵品	6,983
3 繰延資産	-
負債合計	309,848
1 固定負債	48,493
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,980
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,022
(7) リース債務	5,491
2 流動負債	140,837
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,750
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,297
(6) リース債務	1,750
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,842
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	120,518
(1) 長期前受金	361,851
(2) 長期前受金収益化累計額()	241,333
資本合計	1,252,188
1 資本金	1,297,780
2 剰余金	-45,592
(1) 資本金剰余金	299,687
(2) 利益剰余金	-345,279
負債・資本合計	1,562,036
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	145,047	145,047
資本勘定繰入	30,445	30,445
計	175,492	175,492

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	光市
				病院名	光市立光総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,910 m ²	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	14	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	210	62.4	62.3	64.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	210	62.4	62.3	64.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	15.3	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	51,369	
決算規模(千円)	21,235,167	
標準財政規模(千円)	12,601,303	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	50.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.9
修正医業収益(千円)	3,267,603

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,864,011			
1 経常収益	3,726,317			
(1) 医業収益	3,418,207			
入院収益	2,064,153			
外来収益	1,134,947			
診療収入計	3,199,100			
その他医業収益	219,107			
(うち他会計負担金)	150,604			
(2) 医業外収益	308,110			
(うち国・都道府県補助金)	1,549			
(うち他会計補助・負担金)	121,594			
(うち長期前受金戻入)	158,614			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	137,694			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,369,614			
2 経常費用	4,200,253			
(1) 医業費用	4,036,712			
職員給与費	2,062,686	60.3	55.7	59.8
材料費	686,469	20.1	24.7	19.0
(うち薬品費)	377,703	11.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	308,766	9.0	11.0	9.2
減価償却費	488,659	14.3	9.0	9.9
経費	788,535	23.1	23.3	27.7
(うち委託料)	471,425	13.8	11.5	12.4
研究研修費	9,305			
資産減耗費	1,058			
(2) 医業外費用	163,541			
(うち支払利息)	37,026	1.1	1.4	1.5
(3) 特別損失	1,169,361			
損益				
経常損益	-473,936			
純損益	-1,505,603			
累積欠損金	-			
経常収支比率	88.7		97.7	96.3
医業収支比率	84.7		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	82.2		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,751,454
1 固定資産	13,451,851
(1) 有形固定資産	12,817,502
(2) 無形固定資産	1,937
(3) 投資その他の資産	632,412
2 流動資産	4,299,603
(1) 現金及び預金	3,424,410
(2) 未収金及び未収収益	857,177
(3) 貸倒引当金()	15,038
(4) 貯蔵品	33,054
3 繰延資産	-
負債合計	11,380,451
1 固定負債	9,560,805
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,811,935
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,748,870
(7) リース債務	-
2 流動負債	877,215
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	341,064
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	216,801
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	289,325
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	942,431
(1) 長期前受金	4,245,839
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,303,408
資本合計	6,371,003
1 資本金	6,349,826
2 剰余金	21,177
(1) 資本金剰余金	1,529,281
(2) 利益剰余金	-1,508,104
負債・資本合計	17,751,454
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	272,198	272,198
資本勘定繰入	59,571	59,571
計	331,769	331,769

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	光市
				病院名	光市立大和総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,464 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	80.2	76.8	81.3
療養	203	99.7	99.6	99.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	243	96.5	95.9	96.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	16.1	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	51,369	
決算規模(千円)	21,235,167	
標準財政規模(千円)	12,601,303	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	50.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.6
修正医業収益(千円)	2,242,979

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,507,158			
1 経常収益	2,507,138			
(1) 医業収益	2,297,600			
入院収益	1,921,967			
外来収益	184,577			
診療収入計	2,106,544			
その他医業収益	191,056			
(うち他会計負担金)	54,621			
(2) 医業外収益	209,538			
(うち国・都道府県補助金)	8,000			
(うち他会計補助・負担金)	91,823			
(うち長期前受金戻入)	94,941			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,377,769			
2 経常費用	2,377,564			
(1) 医業費用	2,297,915			
職員給与費	1,520,747	66.2	55.7	59.8
材料費	186,434	8.1	24.7	19.0
(うち薬品費)	103,513	4.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	82,921	3.6	11.0	9.2
減価償却費	179,822	7.8	9.0	9.9
経費	404,614	17.6	23.3	27.7
(うち委託料)	242,845	10.6	11.5	12.4
研究研修費	5,170			
資産減耗費	1,128			
(2) 医業外費用	79,649			
(うち支払利息)	23,437	1.0	1.4	1.5
(3) 特別損失	205			
損益				
経常損益	129,574			
純損益	129,389			
累積欠損金	2,128,300			
経常収支比率	105.4		97.7	96.3
医業収支比率	100.0		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	99.3		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,751,454
1 固定資産	13,451,851
(1) 有形固定資産	12,817,502
(2) 無形固定資産	1,937
(3) 投資その他の資産	632,412
2 流動資産	4,299,603
(1) 現金及び預金	3,424,410
(2) 未収金及び未収収益	857,177
(3) 貸倒引当金()	15,038
(4) 貯蔵品	33,054
3 繰延資産	-
負債合計	11,380,451
1 固定負債	9,560,805
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,811,935
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,748,870
(7) リース債務	-
2 流動負債	877,215
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	341,064
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	216,801
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	289,325
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	942,431
(1) 長期前受金	4,245,839
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,303,408
資本合計	6,371,003
1 資本金	6,349,826
2 剰余金	21,177
(1) 資本金剰余金	1,529,281
(2) 利益剰余金	-1,508,104
負債・資本合計	17,751,454
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,924	146,444
資本勘定繰入	130,544	130,544
計	273,468	276,988

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	美祢市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,950 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	12	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	89	71.8	67.4	72.7
療養	49	87.3	91.3	96.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	138	77.3	75.8	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		27.6	25.5	26.5

設立団体の状況		
人口(人)	26,159	
決算規模(千円)	15,341,783	
標準財政規模(千円)	9,606,207	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	26.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.9
修正医業収益(千円)	1,560,458

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,336,819			
1 経常収益	2,336,819			
(1) 医業収益	1,665,662			
入院収益	1,048,740			
外来収益	424,295			
診療収入計	1,473,035			
その他医業収益	192,627			
(うち他会計負担金)	105,204			
(2) 医業外収益	671,157			
(うち国・都道府県補助金)	1,216			
(うち他会計補助・負担金)	201,116			
(うち長期前受金戻入)	70,807			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,459,967			
2 経常費用	2,459,967			
(1) 医業費用	1,928,808			
職員給与費	1,042,573	62.6	55.7	61.3
材料費	260,134	15.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	162,733	9.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	97,401	5.8	11.0	8.2
減価償却費	119,572	7.2	9.0	10.2
経費	498,593	29.9	23.3	30.5
(うち委託料)	244,120	14.7	11.5	13.0
研究研修費	4,187			
資産減耗費	3,749			
(2) 医業外費用	531,159			
(うち支払利息)	7,854	0.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-123,148			
純損益	-123,148			
累積欠損金	423,964			
経常収支比率	95.0		97.7	96.5
医業収支比率	86.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	82.5		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,371,184
1 固定資産	4,427,500
(1) 有形固定資産	4,391,847
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	35,653
2 流動資産	943,684
(1) 現金及び預金	515,981
(2) 未収金及び未収収益	408,932
(3) 貸倒引当金()	621
(4) 貯蔵品	18,122
3 繰延資産	-
負債合計	5,237,207
1 固定負債	3,189,681
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,235,370
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	954,311
(7) リース債務	-
2 流動負債	667,438
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	296,050
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	135,611
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	234,965
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,380,088
(1) 長期前受金	4,642,268
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,262,180
資本合計	133,977
1 資本金	971,687
2 剰余金	-837,710
(1) 資本剰余金	122,796
(2) 利益剰余金	-960,506
負債・資本合計	5,371,184
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	298,326	306,320
資本勘定繰入	77,170	179,411
計	375,496	485,731

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	美祢市
				病院名	美東病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,840 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	80.8	78.7	77.5
療養	40	82.8	78.1	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	81.6	78.5	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		21.6	22.5	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	26,159	
決算規模(千円)	15,341,783	
標準財政規模(千円)	9,606,207	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	26.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.7
修正医業収益(千円)	989,999

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,399,133			
1 経常収益	1,399,133			
(1) 医業収益	1,070,249			
入院収益	744,978			
外来収益	192,310			
診療収入計	937,288			
その他医業収益	132,961			
(うち他会計負担金)	80,250			
(2) 医業外収益	328,884			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	247,543			
(うち長期前受金戻入)	77,505			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,369,558			
2 経常費用	1,369,558			
(1) 医業費用	1,290,344			
職員給与費	719,110	67.2	55.7	61.3
材料費	109,107	10.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	47,525	4.4	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,582	5.8	11.0	8.2
減価償却費	105,330	9.8	9.0	10.2
経費	350,612	32.8	23.3	30.5
(うち委託料)	164,392	15.4	11.5	13.0
研究研修費	4,575			
資産減耗費	1,610			
(2) 医業外費用	79,214			
(うち支払利息)	25,373	2.4	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	29,575			
純損益	29,575			
累積欠損金	536,542			
経常収支比率	102.2		97.7	96.5
医業収支比率	82.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	30.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	23.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	78.2		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,371,184
1 固定資産	4,427,500
(1) 有形固定資産	4,391,847
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	35,653
2 流動資産	943,684
(1) 現金及び預金	515,981
(2) 未収金及び未収収益	408,932
(3) 貸倒引当金()	621
(4) 貯蔵品	18,122
3 繰延資産	-
負債合計	5,237,207
1 固定負債	3,189,681
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,235,370
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	954,311
(7) リース債務	-
2 流動負債	667,438
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	296,050
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	135,611
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	234,965
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,380,088
(1) 長期前受金	4,642,268
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,262,180
資本合計	133,977
1 資本金	971,687
2 剰余金	-837,710
(1) 資本剰余金	122,796
(2) 利益剰余金	-960,506
負債・資本合計	5,371,184
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,665	327,793
資本勘定繰入	95,139	149,264
計	422,804	477,057

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	周南市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,935 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	150	83.8	84.1	84.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	83.8	84.1	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	18.6	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	144,842	
決算規模(千円)	63,556,558	
標準財政規模(千円)	36,174,249	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	91.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,692,875			
1 経常収益	2,692,875			
(1) 医業収益	2,555,827			
入院収益	1,633,515			
外来収益	789,811			
診療収入計	2,423,326			
その他医業収益	132,501			
(うち他会計負担金)	62,046			
(2) 医業外収益	137,048			
(うち国・都道府県補助金)	5,285			
(うち他会計補助・負担金)	126,112			
(うち長期前受金戻入)	1,375			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,892,005			
2 経常費用	2,890,653			
(1) 医業費用	2,826,535			
職員給与費	19,350	0.8	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	206,538	8.1	9.0	10.2
経費	2,599,704	101.7	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	943			
(2) 医業外費用	64,118			
(うち支払利息)	56,239	2.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	1,352			
損益				
経常損益	-197,778			
純損益	-199,130			
累積欠損金	2,197,287			
経常収支比率	93.2		97.7	96.5
医業収支比率	90.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.6		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,492,019
1 固定資産	4,167,828
(1) 有形固定資産	4,084,044
(2) 無形固定資産	1,673
(3) 投資その他の資産	82,111
2 流動資産	1,324,191
(1) 現金及び預金	867,858
(2) 未収金及び未収収益	433,800
(3) 貸倒引当金()	2,467
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,124,383
1 固定負債	2,576,300
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,576,300
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	517,959
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	429,456
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,672
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	86,831
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	30,124
(1) 長期前受金	42,018
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,894
資本合計	2,367,636
1 資本金	4,541,028
2 剰余金	-2,173,392
(1) 資本剰余金	23,895
(2) 利益剰余金	-2,197,287
負債・資本合計	5,492,019
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.2
修正医業収益(千円)	2,493,781

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	188,158	188,158
資本勘定繰入	247,117	247,117
計	435,275	435,275

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	86.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	山陽小野田市
				病院名	山陽小野田市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,362 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	215	80.4	83.6	84.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	215	80.4	83.6	84.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	15.2	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	62,671	
決算規模(千円)	30,412,086	
標準財政規模(千円)	17,546,058	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	69.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,522,410			
1 経常収益	4,222,410			
(1) 医業収益	3,829,062			
入院収益	2,386,942			
外来収益	1,051,614			
診療収入計	3,438,556			
その他医業収益	390,506			
(うち他会計負担金)	112,014			
(2) 医業外収益	393,348			
(うち国・都道府県補助金)	3,050			
(うち他会計補助・負担金)	160,868			
(うち長期前受金戻入)	120,935			
(うち資本費繰入収益)	91,755			
(3) 特別利益	300,000			
(うち他会計繰入金)	300,000			
総費用	4,344,525			
2 経常費用	4,344,274			
(1) 医業費用	4,149,125			
職員給与費	2,043,695	53.4	55.7	59.8
材料費	804,311	21.0	24.7	19.0
(うち薬品費)	467,292	12.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	336,420	8.8	11.0	9.2
減価償却費	450,636	11.8	9.0	9.9
経費	835,492	21.8	23.3	27.7
(うち委託料)	506,571	13.2	11.5	12.4
研究研修費	7,459			
資産減耗費	7,532			
(2) 医業外費用	195,149			
(うち支払利息)	53,163	1.4	1.4	1.5
(3) 特別損失	251			
損益				
経常損益	-121,864			
純損益	177,885			
累積欠損金	3,255,926			
経常収支比率	97.2		97.7	96.3
医業収支比率	92.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	12.7		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	90.9		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,589,391
1 固定資産	4,913,320
(1) 有形固定資産	4,710,516
(2) 無形固定資産	3,216
(3) 投資その他の資産	199,588
2 流動資産	676,071
(1) 現金及び預金	66,154
(2) 未収金及び未収収益	590,675
(3) 貸倒引当金()	21,953
(4) 貯蔵品	41,195
3 繰延資産	-
負債合計	5,947,934
1 固定負債	5,040,566
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,853,832
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	66,000
(6) 引当金	1,120,734
(7) リース債務	-
2 流動負債	712,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	222,359
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	66,000
(5) 引当金	120,128
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	185,970
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	195,057
(1) 長期前受金	1,029,077
(2) 長期前受金収益化累計額()	834,020
資本合計	-358,543
1 資本金	1,772,487
2 剰余金	-2,131,030
(1) 資本金剰余金	1,124,896
(2) 利益剰余金	-3,255,926
負債・資本合計	5,589,391
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	358,543
資本不足額(繰延収益控除後)()	163,486
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.6
修正医業収益(千円)	3,717,048

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	272,882	572,882
資本勘定繰入	110,793	202,548
計	383,675	775,430

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	85.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	周防大島町
	病院名	周防大島町立東和病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,186 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	13	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	114	71.1	80.4	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	114	71.1	80.4	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		56.7	53.0	54.8

設立団体の状況		
人口(人)	17,199	
決算規模(千円)	14,449,439	
標準財政規模(千円)	8,942,228	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	51.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.6
修正医業収益(千円)	1,072,282

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,209,238			
1 経常収益	2,202,812			
(1) 医業収益	1,146,751			
入院収益	659,036			
外来収益	362,254			
診療収入計	1,021,290			
その他医業収益	125,461			
(うち他会計負担金)	74,469			
(2) 医業外収益	1,056,061			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	466,161			
(うち長期前受金戻入)	22,066			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,426			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,502,154			
2 経常費用	2,502,154			
(1) 医業費用	1,659,744			
職員給与費	890,547	77.7	55.7	61.3
材料費	310,178	27.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	201,207	17.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	85,103	7.4	11.0	8.2
減価償却費	166,349	14.5	9.0	10.2
経費	273,812	23.9	23.3	30.5
(うち委託料)	89,504	7.8	11.5	13.0
研究研修費	1,930			
資産減耗費	16,928			
(2) 医業外費用	842,410			
(うち支払利息)	48,908	4.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-299,342			
純損益	-292,916			
累積欠損金	1,851,828			
経常収支比率	88.0		97.7	96.5
医業収支比率	69.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	47.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	24.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	66.4		85.7	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,661,461
1 固定資産	13,230,439
(1) 有形固定資産	10,167,264
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	3,062,540
2 流動資産	1,431,022
(1) 現金及び預金	853,918
(2) 未収金及び未収収益	541,889
(3) 貸倒引当金()	5,931
(4) 貯蔵品	37,606
3 繰延資産	-
負債合計	11,441,264
1 固定負債	8,601,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,030,249
(2) その他の企業債	771,193
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,800,167
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,227,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	721,592
(2) その他の企業債	77,411
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	181,775
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	220,345
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,612,427
(1) 長期前受金	2,383,940
(2) 長期前受金収益化累計額()	771,513
資本合計	3,220,197
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-2,361,817
(1) 資本剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-2,453,441
負債・資本合計	14,661,461
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	707,155	540,630
資本勘定繰入	140,031	-
計	847,186	540,630

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	周防大島町
				病院名	周防大島町立橋病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,396 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	36	67.3	77.0	84.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	67.3	77.0	84.5
平均在院日数(一般病床のみ)		75.1	61.7	64.3

設立団体の状況		
人口(人)	17,199	
決算規模(千円)	14,449,439	
標準財政規模(千円)	8,942,228	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	51.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	48.7
修正医業収益(千円)	313,568

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	559,756			
1 経常収益	558,543			
(1) 医業収益	363,254			
入院収益	150,140			
外来収益	147,398			
診療収入計	297,538			
その他医業収益	65,716			
(うち他会計負担金)	49,686			
(2) 医業外収益	195,289			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	182,178			
(うち長期前受金戻入)	4,779			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,213			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	674,353			
2 経常費用	674,353			
(1) 医業費用	643,455			
職員給与費	333,768	91.9	55.7	80.8
材料費	71,059	19.6	24.7	13.8
(うち薬品費)	47,975	13.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,084	6.4	11.0	4.9
減価償却費	72,546	20.0	9.0	12.9
経費	164,719	45.3	23.3	47.4
(うち委託料)	59,156	16.3	11.5	20.7
研究研修費	725			
資産減耗費	638			
(2) 医業外費用	30,898			
(うち支払利息)	14,835	4.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-115,810			
純損益	-114,597			
累積欠損金	596,891			
経常収支比率	82.8		97.7	96.7
医業収支比率	56.5		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	41.5		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	63.8		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	41.4		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	48.4		85.7	64.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,661,461
1 固定資産	13,230,439
(1) 有形固定資産	10,167,264
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	3,062,540
2 流動資産	1,431,022
(1) 現金及び預金	853,918
(2) 未収金及び未収収益	541,889
(3) 貸倒引当金()	5,931
(4) 貯蔵品	37,606
3 繰延資産	-
負債合計	11,441,264
1 固定負債	8,601,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,030,249
(2) その他の企業債	771,193
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,800,167
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,227,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	721,592
(2) その他の企業債	77,411
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	181,775
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	220,345
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,612,427
(1) 長期前受金	2,383,940
(2) 長期前受金収益化累計額()	771,513
資本合計	3,220,197
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-2,361,817
(1) 資本剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-2,453,441
負債・資本合計	14,661,461
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	387,793	231,864
資本勘定繰入	58,717	-
計	446,510	231,864

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	周防大島町
				病院名	周防大島町立大島病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,109 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	39	80.3	79.1	83.4
療養	60	69.8	74.1	78.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	73.9	76.1	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	16.3	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	17,199	
決算規模(千円)	14,449,439	
標準財政規模(千円)	8,942,228	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	51.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.0
修正医業収益(千円)	1,374,573

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,177,061			
1 経常収益	2,171,330			
(1) 医業収益	1,505,586			
入院収益	734,381			
外来収益	593,591			
診療収入計	1,327,972			
その他医業収益	177,614			
(うち他会計負担金)	131,013			
(2) 医業外収益	665,744			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	479,446			
(うち長期前受金戻入)	29,998			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,731			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,036,983			
2 経常費用	2,035,783			
(1) 医業費用	1,739,863			
職員給与費	854,424	56.8	55.7	72.6
材料費	368,024	24.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	275,401	18.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,757	5.0	11.0	5.6
減価償却費	145,225	9.6	9.0	11.1
経費	368,201	24.5	23.3	31.9
(うち委託料)	112,931	7.5	11.5	13.0
研究研修費	3,146			
資産減耗費	843			
(2) 医業外費用	295,920			
(うち支払利息)	47,924	3.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,200			
損益				
経常損益	135,547			
純損益	140,078			
累積欠損金	4,722			
経常収支比率	106.7		97.7	97.4
医業収支比率	86.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	28.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	40.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	28.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	76.7		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,661,461
1 固定資産	13,230,439
(1) 有形固定資産	10,167,264
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	3,062,540
2 流動資産	1,431,022
(1) 現金及び預金	853,918
(2) 未収金及び未収収益	541,889
(3) 貸倒引当金()	5,931
(4) 貯蔵品	37,606
3 繰延資産	-
負債合計	11,441,264
1 固定負債	8,601,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,030,249
(2) その他の企業債	771,193
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,800,167
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,227,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	721,592
(2) その他の企業債	77,411
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	181,775
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	220,345
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,612,427
(1) 長期前受金	2,383,940
(2) 長期前受金収益化累計額()	771,513
資本合計	3,220,197
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-2,361,817
(1) 資本金剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-2,453,441
負債・資本合計	14,661,461
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	626,351	610,459
資本勘定繰入	150,213	-
計	776,564	610,459

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。